

リサイクル事業を通じた地域の課題を解決するための飼料生産と地域の農畜産業との共生の取組

(愛知県：株式会社 エイゼン)

取組項目

| 飼養管理 | 良質堆肥の生産 | 堆肥の広域流通 | 国産飼料生産・利用 | 有機畜産 | その他(※) |
|------|---------|---------|-----------|------|--------|
| | | | ○ | | |

<取組主体について>

- 所在地：愛知県知多郡武豊町
- 会社名：株式会社 エイゼン
- 飼料作物作付面積：
 - ・デントコーン(自社生産・販売用)：70ha
 - ・ソルゴー等(収穫調製作業受託)：20ha
- 雇用者数：86名(農業部門1名(播種・収穫期は他部門より応援))
- H P：<http://e-eizen.com/business/> (リサイクル事業)



青刈りトウモロコシの収穫調製作業

<取組みについて>

○ 概要

- 畜産業が盛んな知多地域では、家畜の飼養管理部門への専門化に伴い、輸入飼料を中心とした経営形態が多く、輸出国の天候や為替などに左右されやすい構造となっていた。
- 一方、地域の食品関連事業者から排出される食品廃棄物の処理方法が課題となっていた。
- 食品関連事業者から排出された食品廃棄物等を選別・混合処理し、養豚農家などに飼料として販売するとともに、飼料化することが困難な食品廃棄物、公園や街路樹の剪定枝・草などの堆肥化をしている。
- その堆肥と畜産農家の堆肥を荒廃地を再生した自社管理農地に散布し、青刈りとうもろこしの栽培を行い、酪農家に販売するというリサイクルループを形成している。
- 畜産農家では、地元産飼料を安定して確保でき、あわせて堆肥の散布先を確保できたことにより、畜産農家、食品関連事業者、耕種農家、(株)エイゼン等による地域共生の仕組みが構築されている。
- 現在は、青刈りとうもろこしの栽培技術の助言、収穫調製作業の受託、海部・西三河地域といった管外の酪農家への販売等も行っている。

